

11月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の設楽でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故から6年8ヶ月が経過しようとしております。今なお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、あらためまして心よりお詫び申し上げます。

- 本日、私からは3点お話しをさせていただきます。

- まず始めに、原子力規制委員会による適合性審査の対応状況についてです。

原子力規制委員会により示された当発電所6号機,7号機の原子炉設置変更許可申請書に関する「審査書案」については、先月5日から今月3日までの期間で、科学的・技術的意見の募集が行われました。現在、意見集約がなされておりますが、私どもは、引き続き、原子力規制委員会による審査に真摯かつ丁寧に対応してまいります。

- 2点目は、地元自治体へのご説明状況についてです。

原子力規制委員会での対応に関連して、先月26日、27日に、当社社長の小早川とともに米山知事、櫻井市長、品田村長を訪問し、先の原子力規制委員会において報告した、福島第一原子力発電所の廃炉や原子力安全の向上などに関する当社の責任と決意について、直接ご説明するとともに、各首長のお考えを伺ってまいりました。

今後も、首長を始めとする地域の皆さまのご意見に真摯に耳を傾け、対話を積み重ねながら、信頼していただける発電所を目指してまいりたいと考えております。

○ 3点目は、柏崎市消防本部との合同消防訓練の実施についてです。

当所では、構内での火災発生時における公設消防との連携強化を目的に、年に1回、柏崎市消防本部との合同消防訓練を実施しております。

今年度は、今月29日に予定しており、柏崎市消防本部約30名、自衛消防隊など当社関係者約80名、あわせて約110名が参加し、公設消防との協働による消火訓練や負傷者の救助訓練等を計画しております。

このような訓練を通じて、公設消防の技術・技能を学ばせていただくとともに、日常の訓練を積み重ねていくことで、自衛消防隊やそれを支援する組織について、一層の対応力向上に努めてまいりたいと考えております。

○本日、私からは以上です。

以 上